



令和6年2月号

< 2月の予定 >

木曜日 全て	17:00~19:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
土曜日 3日	15:00~17:00 (全員: サイデン化学アリーナ多目的室 A)
	17:00~19:00 (錬成部: サイデン化学アリーナ多目的室 D)
10日	15:00~17:00 (防具組: サイデン化学アリーナ多目的室 A)
	(初級組: サイデン化学アリーナ多目的室 D)
	17:00~19:00 (錬成部: サイデン化学アリーナ多目的室 D)
17日	15:00~17:00 (全員: 大宮武道館剣道場)
	(錬成部: 稽古なし)
24日	15:00~17:00 (全員 月例試合: 駒場体育館剣道場)
	17:00~19:00 (錬成部: サイデン化学アリーナ多目的室 D)
■24日(土)	15:00~16:00 新現合同役員会 (駒場体育館会議室)

※2月15日(木)から、防具組・初級組合同での稽古となります。

< 3月の予定 >

木曜日 7日、21日、28日	17:00~19:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
14日	17:00~19:00 (全員: サイデン化学アリーナ多目的室 C)
土曜日 2日	後期昇級審査会
	15:00~17:00 (全員: 南筒公民館体育室)
	17:00~19:00 (錬成部: 未定)
9日	15:00~17:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
	17:00~19:00 (錬成部: 駒場体育館剣道場)
16日	15:00~17:00 (全員: 南筒公民館体育室)
	17:00~19:00 (錬成部: 未定)
23日	15:00~17:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
	17:00~19:00 (錬成部: 未定)
30日	15:00~17:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
	17:00~19:00 (錬成部: 駒場体育館剣道場)
■9日(土)	9:00~14:00 浦和少年剣道錬成会 (サイデン化学アリーナ)
■30日(土)	15:30~16:30 剣道教室受付① (駒場体育館会議室)

※3月以降、本太中学校・針ヶ谷小学校の状況により稽古場所が変更になる可能性があります。



<4月の予定>

木曜日 全て	17:00~19:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
土曜日 6日	15:00~17:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
	17:00~19:00 (錬成部: 駒場体育館剣道場)
13日	15:00~17:00 (全員: 駒場体育館剣道場)
	17:00~19:00 (錬成部: 駒場体育館剣道場)
20日	15:00~17:00 (全員: 南筒公民館体育室)
	17:00~19:00 (錬成部: 未定)
27日	15:00~17:00 (全員: 未定)
	17:00~19:00 (錬成部: 未定)
■6日(土)	15:30~16:30 剣道教室受付② (駒場体育館会議室)
■13日(土)	15:30~16:30 剣道教室受付③ (駒場体育館会議室)

※状況により中止や稽古場所が変更になることがあります。詳細は Slack にてご確認ください。





# 本荘先生からのお言葉

1月は時間の流れが早かったように感じました。こまけんだよりの発行の間隔が短いこともあるのでしょう。今月は物理的に日数が少ない月（例年よりは1日長い）なのでさらに早く感じることになると思われます。一日一日を、そして1回1回の稽古を大切にしていきたいと思います。

2か月間の駒剣寒稽古、お疲れさまでした。基本打ち、切り返し、かかり稽古を中心としたかかる稽古を繰り返して、地力をつけてきました。何度も言うようですが、この稽古がそれぞれの土台となります。



その土台の上にこれからの稽古において少しずつでいいので積み上げていき、実力をつけていってください。埼玉大学の寒稽古に参加した者もありました。複数回がんばったり皆勤賞をもらったりした者もありました。初級者組で見学した者もいたと聞いています。これからの剣の道に活かしていってください。

私が大学時代に指導を受けた、塩入、大保木先生からこの寒稽古で教えていただいたことを、皆さんにもお伝えたくこの紙面を借りて書いてみます。塩入先生は最初の礼式で「右手で竹刀を握ってはいけない」と全体に話されました。ギュッと強く握らないことを意識し面打ちをやったら良い感じに打てました。稽古後には、恵土孝吉先生（金沢大学名誉教授 範士八段 故人）と塩入先生との稽古で恵土先生から「今日の稽古中私は3回竹刀を握ってしまった。君は3回打つ機会があったのに・・・」と言われたお話を個人的にいただきました。力を入れない、力を抜くというのは難しいです。剣先の動きについても指導をいただきました。大保木先生からはたくさんのことを。長尾進先生（明治大学 範士八段）との稽古を見て、「もっと足を使わないといけない、八段の方が細かく足を使って動いている」と。千秋楽には、元立ちの仕方について全体の前で話されました。「元立ちはサンドバックではない。技術が必要、そして相手への観察眼と愛情が大事である。かかる側の2倍動いて最高の一本を引き出す、これが難しい。」埼大の学生に向けて話してはいましたが、我々への教訓、指導に聞こえました。他にも基本打ちの時に体育館をぐるぐる回りながら声をかけていらっしゃいました。私も面の打ち方の指導を受けました。色々指導されて自分の中で消化しきれていない部分もありますが、思うのはいくつになっても指導してくれる「師」が近くにいるというのは本当にありがたいことです。これからの皆さんとの稽古で意識をしながら、課題を克服していこうと気持ちを新たにしたいところです。どうぞよろしくお願いたします。



14日目稽古終わりに 大保木先生から構え、竹刀の振り方、ひじの動きまさに手取り足取りのご指導をいただく

# 太郎の百錬自得



今日は、

お休みです  
“”

来月号をお楽しみに!



# 新ジャイアンのはなうた♪



よっ！ みんな、元気か？

あっという間にもう2月だな。そんなことを考えていると3月になって、進級ってことになるな。光陰矢のごとし（こういんやのごとし）、少年老い易く学成り難し。（しょうねんおいやすく、がくなりがたし）だな。

え？なんで、急にことわざかって？それは、たまには、ことわざくらいだしておかないと、はなうたの内容がないことがバレてしまうからな。

ところで、今回、学年末が近くなるということで、ジャイアン、ある企画を考えた。

それは、自分の剣道通知表を作ってみようということだ。学年末には、通知表をもらうよな。でも、剣道については、通知表はないので、それを自分で作ってみようということだ。自分のことを考えるのは、とても大切なことだし、上達につながるぞ。

じゃあ、どんな項目で通知表をつくれればいいかな？こういうときは、稽古の順番を考えてみるといいぞ。まず、ずる休みをしていないか、稽古の時間に遅れずに来ているかということで「出席」、次に、稽古着やはかま、防具をちゃんとつけられているか「着装」（ちゃくそう）。「竹刀」はささくれたり、割れていたりしないか。「礼式」はちゃんとしていられるか。ただしく「構え」られているか、「気合」はでているか、技は正しくうてているか「面」「小手」「胴」「切り返し」「小手面」など。そして、「後かたづけ」はちゃんとできているかという感じかな。ほかにも自分なりの項目をたしてもいいかもな。

そして、それぞれ、5段階で評価してみたら、おもしろいかもな。

ジャイアンもやってみた。

「出席」4～ずる休みはしていないけど、時々稽古時間に遅れることがある。

「着装」4～たまに、胴の下ひもがほどけてしまう。

「竹刀」5～竹刀の手入れは、ちゃんとしている。一緒に稽古している人に怪我をさせるといけないので。

「礼式」3～たまに手を動かしたり、足を動かしたりしてしまう。

「構え」4～だいたいできていると思うけど、たまに疲れると、足がよたよたする。

「気合」5～気合だけは自信あります。

「面」4～ときどき足が動いてから、打ってしまう。

「小手」3～当たらないときがある。

「胴」2～むちゃくちゃへタ

「切り返し」4～ちゃんとやっているつもりだけど、つかれてくると手が上がらなくなる。

「小手面」4～意外と得意技。

「後かたづけ」3～ちゃんとしているけど、少し遅い。

ざっとこんな感じかな？え？評価が高すぎるって？どうかもな。じゃあ、全部から1引いといてくれ。あっ！！1引くと胴が1になっちゃう！！良平先生、どうかどうをおしえてください。

じゃあ、またな！

# 大人の“ペンリレー”

錬成部 江刺家公一さん

2024年2月のペンリレーを担当します、江刺家です。

小野塚さんからご指名いただきましたが、何を書けばよいのか思いつかず、今に至っています。

とりあえず、息子は昨年、私は今年から入会した『新人』ということで、自己紹介もかねて書いてみたいと思います。よろしくお願ひします。

## 1 はじめに

- 2か月間の寒稽古が終わりました。皆さま大変お疲れさまでした。今回、初めて参加させていただきましたが、練習についていくのがやっとでした。
- 今から次回の寒稽古は、参加できるか、期間中怪我なく無事に終われるか、そもそも体力が続くか不安になっています。

## 2 あのお父さん何者？（簡単な自己紹介）

- 出身は、岩手県の北部（青森県との県境）にある軽米町というところで、小学校2年生から地元の道場（軽米雁舞館）に通いました。その後、高校（二戸市にある福岡高校）まで剣道をやらせていただきました。

この間、遠征や大会で北は北海道、南は岡山県まで行って試合するという貴重な経験をさせていただきました。ちなみに、学校自体は玉竜旗に参加しているのですが、諸事情で行けなかったもので、私は岡山止まりです。

そして、稽古がとても厳しく何度も逃げたくなりました（逃げ出したこともありました）が、何とか高校まで何とか続けることができました。

- 現在、きっと皆さん一度は利用したことがある、または、見かけたことがあるお手紙を配る某会社に勤めていますが、そこで、ひよんなことから会社の剣道チームに入ることになり、もうやることはないと思っていた剣道を20代前半～30代前半の約10年弱やらせていただきました。

この間、会社内の大会で北は北海道、南は熊本まで行くことができたほか、官公庁の大会など貴重な経験をさせていただきました。

- そこから仕事が忙しくなり、また退きましたが、息子が入会し、やっている姿を見て、もう一回やってみようかなと感じ、今に至ります。

## 3 夏合宿で見つかりクリスマス会でデビュー（タンタン）

- 昨年の夏合宿以降、時々『タンタン』という言葉を目にしたかと思ひますし、『タンタン』って何だろう？と思ひていた騎剣士もいたかと思ひますが、先日のクリスマス会で

『タンタンデビュー?』することができました(少々遊び過ぎました。)。お付き合いいただいた工藤さん、小野塚さん、葛西さん誠にありがとうございました。

《良い子は試合中に『タンタン』しないようにしましょう!》

- ちなみに、『タンタン』(そう呼んで良いか分かりませんが…)は、練習場の端から端を使用して、面の連続打ちや小手と面の連続打ちの練習メニューで、これを行う目的、理由があるのですが、私の場合はそれに追加でもう一つ理由があります。
  - これまで、全国の色々な会場を回らせていただきましたが、硬い床、柔らかい床、滑る床、滑らない床、いろんな床がありました。そんな中、足を痛めたり、踏み込みがしっくりせず、試合がうまく進まなかったりすることがありました。そんなこともあり、極力そうならないように『タンタン』で床を確認しながら足を慣れさせています。
- 最近、これに追加して、左足の引き付けの確認も行っています。

#### 4 最近何していますか? (近況報告)

- すっかり、剣道と仕事+αな私ですが、そんな中での最近の3つの出来事をご紹介します。ここまでは、諸事情により文字だけだったので、ここでは、写真も載せて紹介したいと思います。
- ① 2023夏以降、栃木県と群馬県をうろうろ・・・え?何?この餃子!?
- 2023年は栃木県と群馬県の出張が多くありました。特に栃木県宇都宮市には、多く行く機会あり、色々な餃子を食べることができましたが、はじめて、こんな餃子があることを知りました。



『健太餃子って…これは食べるしかない!』

出張の度、『店内で食べて帰るか、お土産で持ち帰るか』を悩みながら電車に乗って宇都宮市を訪れていました。今後もそうなると思います。

- ② 久々の旅行(那須)・・・え?何?この乗り物!?

コロナ禍や仕事の関係で家族旅行を控えていましたが、2023年の年末、深夜の仕事明けから翌日の休みを活用して那須ハイランドパークへ行ってきました。



初めて2階建てのメリーゴーランドを見ました。ついついうれしくなって私以外の家族に乗ってもらいました（私は写真係です）。

そして、ハイランドパークの近くのホテルに泊まりましたが、とてもご飯がおいしいところでした。もし行ったことがない方で、今後那須に行かれる方がいましたら、候補の1つに入れていただけると幸いです。

### ③今年、早々に出張・・・え？何？この状況！？

1月1日親戚とお酒を飲んだ帰り、ニュースで令和6年能登半島地震を知りました。

《被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。》

能登半島にも私の勤めている会社がありまして、混乱しました。もしかすると気づかれた方もいるかもしれませんが、練習後、スマホで会議に参加していました。それから、急に連絡が来まして・・・

新幹線に乗り

→

長野を通過

→

雪景色の山を見て



→ 海を見て

→ 金沢に到着



能登半島地震の関係で1週間ほど金沢に滞在しました。

被災地には交通規制等を入れず、金沢市内で作業して帰ってきましたが、これからも復興に向けて頑張ります！

## 5 さいごに

➤ 最近、息子と駒剣と関わってから、話す内容は、剣道がメインになっています。といいますか、会話することが増えました。本当に駒剣には、感謝しかありません。

今後も息子と頑張っていこうと思っていますので、よろしくお願ひします。

➤ 次は、先日、『剣道具を揃え、練習に参加』されている佐藤利幸さんにバトンタッチしたいと思います。よろしくお願ひします。

錬成部の武笠佑里です。しばらく出番がないだろうと高を括っていたペンリレーがまさかこんなに早く回ってくるとは思いませんでした。ペンリレーの掲載にあたり思案したところ、普段はお話をしない私の推し活（おしかつ）について紹介をしようと思いました。

私は稽古に参加をすることが少なく知らない方が多いと思うので、まずは自己紹介からさせていただきます。現在私と主人で錬成部に在籍しています。剣道に関して、私は中学の体育の選択授業でかじった程度の未経験者の一方で、主人は小学1年生から高校卒業まで続けてきた経験者です。剣道と共に育ってきた主人の意向で駒剣に息子を入会させることにしました。私たち家族が駒剣に入会してから10年がたち、入会した当初は2年生で末っ子学年の坊主頭だった息子は長い前髪を気にする高校生になりました。

私が錬成部に入部した時期は今から5年ほど前になります。息子が駒剣を卒業した年の4月で息子と入れ替わりになったため、駒剣と一緒に稽古をしたことは一度もありません。

錬成部に入るきっかけはお父さんお母さんのための剣道体験稽古会でした。稽古会では参加者同士の対抗戦があり、面、小手、胴を打ち審判が判定をして勝敗がつく企画がありました。打てる自信が全くなかったのですが、無心で挑んで打った胴が見事に決まり勝つことができました。本荘先生からお褒めの言葉をかけていただき、気をよくした私は錬成部に入部することになったのです。未経験者の私がなぜ胴を打てるのかを考えてみたところ、当日先生方から受けた指導はもとより、見取り稽古の成果と息子との会話からヒントを得ていたからです。後援部の頃はお母さんたちと一緒に見取り稽古をして、真剣に先生の話に耳を傾けていました。見取り稽古では駒剣士たちを温かく見守り、成長をしていく姿にいつも感動をしていました。よくお母さん同士で「○○さんは見取り○段」など言いあっていくくらい、当時のお母さんたちは見取り稽古が大好きでした。こうして剣道に接していくうちに、元気よく駒剣士たちに応援をしたり、駒剣士たちに負けまいと一緒に大きな声で返事をしたりと繰り返していくうちに、自然と体に剣道が入ってきたような気がします。

さて、本題の推し活の話題をここから始めます。

私の推し活は動物園へ行ってカピバラを見ることです。カピバラを見に行くことを「カピ活」と呼んでいます。カピ活は私のライフワークであり、元気の源になっています。

皆さんは「カピバラ」をご存知でしょうか？駒剣士の皆さんは動物園等で見たことがあるかもしれませんが。私の幼少期にはカピバラは動物園で見ることがほとんどなく、その存在も知らなかったのですが、いつからかこの動物園にもいるようなメジャーな動物になったと思います。カピバラはズングリとした茶色い体にボーっとした顔をしています。見た目は豚のように見えるけれど、豚の仲間ではありません。カピバラは世界最大のネズミの仲間でげっ歯目テンジクネズミ科カピバラ属に分類されています。ネズミの仲間はたくさんいますが、特にモルモットに近い種族となります。カピバラの和名はオニテンジクネズミ、そして中国名はその姿から水豚と呼ばれています。生息地は南米大陸の水辺や草原で、一頭のオスを中心にメス数頭とその子どもたちで群れを形成して生活をしています。カピバラの天敵は陸地にはジャガー、空にはコンドル、川にはワニと様々な場所に点在しています。あらゆるところに敵がいるので、敵から逃げるために早く走ることもできて、泳ぐことも得意としています。

私がカピバラを好きな理由は二つあります。見た目のかわいさとのんびりとしたマイペースな仕草です。2年前に訪れたこども動物自然公園のナイトゾーで複数頭のカピバラに会い、すっかりとりこになってしまいました。今まで他の動物園でカピバラを見ても地味な印象からほぼ素通りをしていました。しかし、こども動物自然公園のカピバラたちは地味なんて言葉がふっとんだくらい、行動が何ともおもしろいではありませんか！しばらく観察をしていると水辺でフンをしたり、猫や犬のような座り方をしていたりとマイペースながらも飽きない行動を見せてくれました。そんなカピバラを見ると仕草が以前実家で飼っていた猫のように見えてきました。3年前に18歳で亡くなった実家の猫のことを忘れられず、カピバラにその面影を見つけてカピバラの大ファンになってしまったのです。家に帰ってからもカピバラが気になって仕方がなくて、YouTubeでカピバラばかり見ていました。家の近くでカピバラは見られないかと探していたところ、自転車で行ける大宮公園小動物園にカピバラがいることを知りました。大宮公園小動物園には現在2頭のカピバラが飼育されていて、兄妹で兄のピースと妹のチェリーが暮らしています。兄のピースは放飼場、妹のチェリーはケガの療養のため別の部屋で隔離をされて生活をしています。もとは3頭で、長男ピース、長女チェリー、次女ラ・メールとかわいい名前のカピバラたちが暮らしていました。ピースと放飼場で暮らしていた次女のラ・メールが今年の11月に他界し2頭になってしまいました。このカピバラは兄妹であるにも関わらず個性がはっきりと分かれています。兄のピースは優柔不断で兄妹の中では一番気が弱く、甘えん坊で人がくるとうれしそうに近づいてきてくれます。撫でてあげると気持ちよさそうにじっと座ってくれます。

湯あみが大好きで高い位置にある排水管から出てくるお湯を頭で受けてまるで滝行をしているように見えます。一方妹のラ・メールは慎重派で大きな音にびくっとする反面、兄のピースから餌を奪ったりピースのことを追いかけて強硬な一面もありました。ピースが滝行をしている隣で水しぶきを受けるのが好きでした。どちらかというとい妹のラ・メールの方が野生でも生きていけるような性格をしていました。飼育員さん曰く、この2頭は仲があまりよくないとのことですが、いつも一緒に行動をしているので私は仲よし兄妹に見えました。



左 ラ・メール 右 ピース

日常の忙しさから動物園に行くことが疎かになっていましたが、段審査の後にやっと行けた10月の小動物園では以前とは少し様子が変わっていました。半年ぶりに会った妹のラ・メールがずいぶんと痩せていました。今までは人に近づいてくるのがあまりなかったはずなのに、この日は近くに来てくれて、たくさんラ・メールを撫でてあげることができました。カピバラファンの情報によると、ここ数か月で人に懐くようになったそうです。優しい声で話しかけると、理解してくれるように見えて初めてラ・メールと仲良しになれた気がしました。こんなにうれしいことがあった一か月後に、大宮公園小動物園のSNSでラ・メールの訃報を知り悲しみに暮れてしまいました。死後から3日たった日に小動物園を訪れると放飼場の小屋に一人でいるピースが寂し気に見えました。供養塔に献花をして、しみりとしながら小動物園から帰っていきました。これほど悲しい気持ちで動物園に訪れたのは初めてのことでした。カピバラファンのSNSによると、ラ・メールの亡くなった週末の供養塔には来園者から寄せられた数多の花で溢っていたそうです。ラ・メールは多くの人に愛されていたのです。もし天国からラ・メールがこの花を見たとしたらきっと喜んでくれることでしょう。

次に昨年のカピ活行脚をご紹介します。私にとって大宮公園小動物園はメインに訪れる動物園であり、他にも会いに行きたいカピバラが全国の動物園に暮らしています。旅行に行く際は現地のカピバラのいる動物園を探して訪れています。

まずは2023年1月のカピバラ初めは大山トム・ソーヤ牧場です。鳥取県にある小さい子向けの小さな動物園で、ヤギ、モルモット、犬等様々な動物とふれあうことができます。牛や馬のいる牧場ではありません。ここのカピバラ広場ではふれあいタイムがあり、エサあげ体験をすることができます。2頭のカピバラがいてオスのとと丸くとメスのなごみちゃんがお出迎えをしてくれます。この2頭は兄妹でもなければ、夫婦でもないそうです。大宮のカピバラよりも一回りほど小さな体をしています。年齢は2頭ともに10歳を過ぎた高齢のカピバラです。なんといっても触覚が長くお顔がキュートなお二人。とと丸くんは芸達者でお手、おかわり、テヘ(照れるポーズ)などができる賢いカピバラです。有料の笹のエサをあげて、とと丸くんにお手をしてもらうことができました！幸せな絶頂な瞬間でした。1本100円の笹を10本くらい大人買いして独り占めをしたかったのですが、他の来園者がいたので断念しました。私が旅行に行く一週間前、山陰地方に大雪が降りレンタカーで雪道を走らせることができそうもないので行くことを断念したのですが、数日前から異常に気温が上がり雪は全く残っておらず無事カピバラに会いに行くことができました。この時は一人旅だったので動物園に行くには勇気がいりましたが、行ってしまえば全く平気でした。



とと丸くん

2023年2回目のカピ活行脚は山地獄です。地獄在住のカピバラですが、実際には地獄などではなく大分県別府市にある温泉街の一角の小さな動物園です。近くにはべっふ地獄めぐりの一つの海地獄という観光地があり、温泉の煙が至るところでもくもくと湧いているのが印象的です。名前を失念しましたが、ここには小さなオスのカピバラが一頭で暮らしています。広い放飼場に池と小屋があり、最初はカピバラがどこにいるのかわからなかったのですが、エサのニンジンが柵の近くでゆらゆらと揺らすと池の中から小さなカピバラがひょっこり現れてエサを目がけてゆっくりと歩いてきてくれました。ニンジンを食べ終わるとそそくさと池に戻っていきました。人慣れはしていないようで、ニンジンがなければ近くで見ることができませんでした。



山地獄のカピバラ

2023年3回目のカピ活行脚は飯田市立動物園です。無料の小さな動物園で長野県飯田市の中心部に位置しています。小動物を中心とした動物園ですが、コンドルやワラビーなど普段なかなか見られないような動物たちも飼育されています。この動物園には3頭のカピバラがいます。みたらし、よもぎ、きなこ甘味の名前が印象的です。カピバラコーナーでは小さな固形のエサを買ってエサ台に入



飯田市立動物園のカピバラ

れて食べさせることができます。ふれあいにはできないのですが、独立したカピバラコーナーがあるのがよかったです。動物園の隣に子ども向けの豆汽車が走っており、小さな子がいたら喜びそうな所です。近隣に住んでいる人が羨ましいと思う動物園でした。

番外編に頓挫したカピ活をご紹介します。大阪の海遊館には魚と一緒に泳ぐカピバラがいるとのこと、11月初旬神戸に出張した翌日に行く予定でした。仕事を終え神戸から大阪に移動している最中に立っているのも辛いくらい体がだるくなり、ホテルに着くなりベッドに倒れ込んでしまいました。夜中に高熱を出し動くこともままならないほどになりました。翌朝になると少し熱が下がったものの、体力がないため移動の多い海遊館に行くことを泣く泣く諦めました。その代わりに以前から行きたかった池田市の五月山動物園に行ってウォンバットを見に行くことにしました。ウォンバットとはオーストラリア大陸の固有種の有袋類で、祖先はコアラと同じだそうです。日本の動物園でウォンバットを飼育しているのは長野県の茶臼山動物園とこの五月山動物園の2園のみです。五月山動物園でこの時は4頭のウォンバットが飼育されており、それぞれのウォンバットが独立したエリアで過ごしていました。あるウォンバットは来園者に見える位置まで来てランウェイと化された放飼場を繰り返し歩きファンサービスをしているように見えました。来園者から「かわええなあ」「アピール上手やね」と聞こえてきたのが印象的でした。池田市は「ウォンバットと暮らすまちいけだ」として市をPRしています。市内の至る所にウォンバットの看板があったりウォンバットのお土産が市内の食料品店等で販売されていたりと街のあちこちでウォンバットにお目にかかることができます。動物好きにはたまらない、こんな街に住んでみたいと思うような素敵な所でした。



ウォンバットのコウくん

ラ・メールの逝去の悲しみも和らいだ一か月後にウォンバットのコウくんの永眠を知り、またまた悲しい気持ちになりました。カピバラのラ・メールもウォンバットのコウくんも自分の行ける時に会いに行けてよかったと思っています。「かわいい姿を見せてくれてありがとう。」この2頭には感謝の気持ちでいっぱいです。

動物園は無料や安価で入園できる場所が多くあり、時間さえ作れば気軽に訪れることのできるスポットです。駒剣の皆さんもたまにはお父さんやお母さんと一緒に動物園を訪れてみてください。きっと何か新しい発見ができると思います。

今後も剣道を続けながら、カピ活を励みに人生を楽しんでいければと思います。

今回のペンリレーは錬成部の先輩で仲良しの小澤真智子さんに引継ぎをします。



# 石井のetc.日記



4年ぶり?に  
 〇大の寒げいこに  
 参加させて  
 頂きました。

岩下きさん  
 親子には、  
 大変お世話に  
 なりました。  
 ありがとうございます。  
 ごさいました。



大人の参加の  
 少ない時期が  
 あり、  
 〇保木先生が

小さいころを  
 待たせては  
 いけません!!  
 もとに立って  
 下さい!!

と  
 おっしゃるので



なんと!!  
 はじめて  
 もとに立ち  
 ました...!

「胴ポン」も  
 できるようになりました!

ハイ!

さあぞ  
 小さいころが  
 終わると  
 すかすか

ポン



大学生が突進して  
 くるのではないですか。  
 (ぞりゃさうだ、もとを  
 あげちゃイカンもんね)

ふっとばけいなし  
 ように必死。

こうして必死の日々を  
 おごしました。勉強になりました。  
 お相手して下さった皆様、  
 本当にありがとうございます。  
 そしてへなたちもここでスママセン。  
 精進せねば!!

→今まで出来なかったのだ!! (2)